

メシダ属の新雑種 (オクイズモイヌワラビ)

柳 浦 正 夫*

A New Hybrid of *Athyrium* 'Okuizumoinuwarabi'

Masao Yagiura

メシダ属はメシダ科に属し、「日本産シダ植物標準図鑑Ⅱ」によれば、世界の温帯を中心に約220種、日本に39種74雑種存在するとされる。また、同図鑑の分布図から県内に分布すると思われるものをあげてみると16種21雑種の分布が確認できる。このうちヘイケイヌワラビ *Athyrium eremicola* Oka et Sa.Kurata やツクシイヌワラビ *Athyrium kuratae* Seriz. は県内に分布しているが、分布が確認されているところは少なく、特に東部では非常に稀である。今回これらの雑種と思われるシダを発見したので報告する。

発見の経緯は、2004年に雲南市大東町においてヘイケイヌワラビがあることを発見した。それを故村村喜則氏に伝えていたが、後日同地にツクシイヌワラビもあることを教えられた。そのため2009年11月25日に行ってみると、ツクシイヌワラビも確認できたが、両者の中間的な形態をもつシダも発見した。これは葉柄基部の鱗片が明るい茶褐色でツクシイヌワラビのであるが、葉身は細く、小羽片はより羽軸に延着しているのでヘイケイヌワラビの形質の影響がみられた。ま



写真2 雑種の葉身裏面

た、ツクシイヌワラビには葉柄や羽軸に微細毛はなく、ヘイケイヌワラビにはあるとされるが、観察するとこのシダにはそれが見られた。

この雑種については何人かに確認してもらっていたが、広く知られている報告書等には出していなかつ



写真1 左がツクシイヌワラビ、右が雑種。
雑種は小羽片が羽軸に延着している



写真3 雑種の葉柄基部。茶褐色の鱗片が密生する

* 島根県立出雲高等学校, 〒 693-0001 島根県出雲市今市町 1800

Shimane Prefectural Izumo Senior High School, 1800, Imaichi-cho, Izumo, Shimane, 693-0001, Japan



写真4 同地のヘイケイヌワラビ

た。しかし、昨年の夏中国シダの会に持参したところ日本シダの会会員の岡武利氏からそれに間違いないと同定された。そこで今回この新雑種を *Athyrium eremicola* Oka et Sa.Kurata × *Athyrium kuratae* Seriz. とし、和名は発見した所からオクイズモイヌワ

ラビとしたと思う。標本は国立科学博物館と地元の三瓶自然館に納入予定である。

またこの地には、この雑種は2株しか発見できなかったのも希少なシダである。また、ヘイケイヌワラビは全国的にも希少で産地は興味をもたれ広く知られてしまう可能性があるため、絶滅しないためにいろいろな対策が必要ではないかと思われる。

最後になるが、同定の機会やさまざまなアドバイスいただいた岡武利氏や中国シダの会の皆様、ツクシイヌワラビの生育についてご教授いただいた故枚村喜則氏に感謝の意を表す。

参 考 文 献

- 海老原 淳 (2017) 日本産シダ植物標準図鑑Ⅱ .507pp. 株式会社学研プラス. 東京.